

*****佛事の常識・非常識*****

Q:喪中はがきが届いたらどうしたらいいですか？ A:お手紙を添えてお供えしてみてもいい。

先日、私のもとに小学校時代の友人の親御さんが亡くなったという喪中はがきが届きました。40年も前に家族ぐるみで親しくしてくれた友人家族は、中学にあがる頃には都会に引っ越してしまい、その後は年賀状のやりとりだけでした。ただ亡くなられてから何か月も経っていたので、今さらお悔やみもおかしいと感じたので、お手紙を添えてお供えを送ることにしました。もしかするとクリスチャンだったかも知れないと思い、お花を送りました。

後日、ご家族から丁寧なお手紙が届きました。どういう最期を迎えられたのか、そして今に至るまでの心境が事細かく記されてありました。ご家族の葛藤が直に伝わってくる文章でした。お手紙の終わりに40年前高松で過ごした日々のこと、楽しい思い出やこの度のお供えへの感謝の言葉がつつられていました。お手紙を読んだ後に、目頭が熱くなるのを覚えました。つい最近こういうケースが身近にあり、思いを先方様に届けることができた気がしましたので、みなさんにも参考にして頂ければと思い紹介致しました。

*****ハッピープレゼントクイズ*****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問:「大喜びで我を忘れる」という意味で使われる仏教語は次の3つのどれでしょうか？

- ①万歳三唱 ばんざいさんしょう
- ②フィーバー
- ③有頂天 うちょうてん



答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

先月の答え、②の精進料理でした。すっぽん料理はダメですね。

*****坊守の月イチブログ*****

おたがいさま高松

久しぶりにうちゃんが遊びに来てくれました。うちゃんは情報通、常にアンテナを張り巡らせて、知らないけれど知って得する情報をたくさん教えてくれます。

今日は「おたがいさま高松」のことを教えてくれました。「おたがいさま高松」とは、困ったな、誰かに手伝って欲しいな、という時に相談に乗ってくれる有償ボランティアです。家事応援、例えば洗濯や掃除、産後のお手伝い、育児のお世話、話し相手やペットの世話など、生活に困ったことがあれば、わずかなお金で助けてもらえるのだそうです。平日ならなんと一時間800円！そんなに安くていいの？これは有償ボランティアだからこの金額なんだそうです。何ともありがたいことです。

「困ってる人はたくさんいると思うけど、こんなのがあるって知らない人も大勢いると思うから、奥さんから教えてあげてね。」

優しいうちゃん、ありがとうございます、ということでかわら版に載せました。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。

徳成寺ホームページ : <http://www.tokuioji.com/>

